文部科学省平成 28 年度特別支援教育に関する実践研究充実事業

「共生社会につながる交流及び共同学習」公開研究会(第 1 年次)～生徒の活動～

1 月 20 日行われた公開研究会の様子について、生徒の活動に焦点をあててお伝えします。当日は、本校の生徒たちも主体的に活躍する場がたくさんあり、全校一丸となってお客様をおもてなしする気持ちで取り組みました。

案内係

高等部の生徒が中心となり、玄関や廊下等で来校者の方々のお出迎えをしました。生徒一人一人が日頃の学習の成果を発揮し、気持ちの良いお出迎えを心がけながら、挨拶や、誘導を行いました。

心温まる生徒さん達のお出迎え、本当にありがとうございました。（参加者の声）

製品販売

お昼には、参加者の方々の昼食場所である体育館において、生徒による製品販売を行いました。日頃作業学習で製作している、陶工コースや、染色縫製コース、木工コースの数々の製品を参加者の方々に実際に手にとっていただき、購入していただきました。

生徒がしっかりと視線を合わせ、丁寧に対応していて、製品も丁寧に作られているということが感じられました。（参加者の声）

お茶のサービス

昼食場所では、生徒によるお茶のサービスを行いました。参加者の方々の様子を見て、その場に応じた声掛けを意識し配膳していました。

生徒のお茶サービス、感激しました。決まった挨拶だけでなく、「前からすいません」や「後ろを通ります」など、臨機応変に対応する姿から、日頃の学習の積み重ねを感じました。（参加者の声）

ダンス発表

中学部の生徒が「学校・アート・出会いプロジェクト」を活用して取り組んでいる「ダンスパレード！」を行いました。アシスタントとして参加している、追手門学院高等学校の高校生だけでなく、参加者の方々とも一緒に、みんなで一つのダンスを踊りました。

みんなでダンスという一つの活動の持つパワーを感じました。「楽しい」が沢山の人を結びつけていくのでしょうね。（参加者の声）